

臨床研究「頭頸部再建における遊離前外側大腿皮弁の鬱血に対する検討」

について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

頭頸部癌などの切除後に行われる再建手術において遊離前外側大腿皮弁（ALT）はよく用いられる皮弁の一つです。ALT は皮弁採取部の機能的、整容的な欠点が少ない優れた皮弁ですが、文献的に他の皮弁（腹直筋皮弁、前腕皮弁など）に比べて術後の血流障害が多いと言われており、その原因は明らかではありません。

ALT は皮弁を栄養する血管の走行のバリエーションに富んでおり、また主要血管から皮膚につながる血管（穿通枝）が細いという特徴があります。穿通枝の剥離操作が皮弁うっ血に影響を与える可能性があります。剥離操作の違いによる ALT のうっ血に関連する報告はありません。今回我々は ALT を用いた頭頸部再建の術後皮弁うっ血に関して、剥離の程度との関連を検討し報告する。

② 研究対象者

2008 年 1 月から 2021 年 2 月に 頭頸部再建手術を受けた患者さん

③ 研究期間

倫理委員会承認後～2021 年 9 月 30 日まで。

④ 研究の方法

患者さんの診療録、臨床写真を用いて⑤の項目について後ろ向きに調査し、収集した情報の解析を行い、術後の皮弁うっ血と血管剥離操作の関連、原因を明らかにします。新たに追加検査を行うことはありません。なお、診療情報はすべて個人が特定できないように匿名化します。

⑤ 試料・情報の項目

年齢、性別、使用皮弁、再建部位、皮弁に含まれる穿通枝の本数、皮弁に含まれる筋肉の有無、皮弁の大きさ、血栓の有無、吻合血管の種類、吻合血管の本数、イン

ドシアニンググリーン蛍光造影などについて調査します。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について
提供しません。

⑦ 試料情報の管理について責任を有する者
筑波大学 形成外科 講師 佐々木薫

⑧ 本研究への参加を希望されない場合
患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の
停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結
果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先
筑波大学附属病院 305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
所属・担当者名：形成外科 担当 佐々木薫
電話・FAX：029-895-3122
対応可能時間：平日9～16時